

雅ねえの、みんなで取り組む

獣害対策講座 Vol.8

※タイトルに記載している『雅ねえ』の表記は、本人の原稿どおりで掲載の了承を得ています。

おさらいと予習

前回

前回はカラス、スズメってみんな目の敵みたいになってるけど、実は害虫やジャンボタニシをコツコツ地道に減らすみたいないこともずいぶんやってくれてる。だから鳥対策は、「お願いだから、今だけは来ないで」という期間限定対策。収穫終わったらできるだけ早く戻ってきてもらうのが大切って、思い出してくれたかしら？

今回

今回はモグラ。獣害対策ってお仕事を長年やってると講演会とか出版社の読者の集いなんかでいろいろ質問される。質問の回数で言えば、圧倒的に多いのが、他にもないモグラ。考えてみれば、サル、シカ、イノシシっていかに問題大きくても中山間限定。

モグラって中山間は言うに及ばず、平坦地の小学校の校庭にもいるし、東京の代々木公園にだっている全国の生き物だから、当たり前っちゃ当たり前か。

モグラも案外いいヤツ

前回、鳥って悪いこともやるけど、びっくりするくらいいいこともやってくれてるって話をしたけど、実はモグラもトンネル掘る以外、いいことしかやってない。案外いいヤツってことわかってあげてほしい。

セミ、ネキリムシ、ヨトウムシ、スズメガ、ドウガネブイブイ、ナガチャコガネといった数々の害虫の土中にいる幼虫やサナギ、そしてミミズといった生き物が餌。そして大食漢。毎日ものすごく害虫を食べてくれる。

サツマイモやダイコン、ニンジンなんて絶対に齧^からない。ただ、都合悪いところは土中にトンネル掘って畦や畝ボコボコにしちゃう、野菜の苗の下にトンネル掘られたら根っこが乾いて苗が枯れちゃうといった点かな。

飼ってみたら癒し系

あたしの経験では捕まえてすぐ、初対面で背中や喉を指で優しくこちよこちよしてやると気持ちよさそうに身を寄せしてくれるのはモグラくらいなもの。

サルよけのネットにからまったカケス助けてやったのに足でかいたり嘴^{くちばし}でつついたり大暴れ、ケガしたタヌキ保護して何日も世話したのに餌とお水あげてる最中にガブリとやられたこともある。

でも、モグラはちょっと深目の衣装ケースにコンクリートブロック入れただけで簡単に飼える。寝ているところをそっと手のひらにのせて、背中とか優しくこちよこちよすると気持ちよさそうにからだ伸ばしてる。視力がない分、触られ方で敵か味方か判断してるみたい。

あげるのはお水とミンチ肉。ミンチ肉小皿に入れておくときれいに赤身だけ食べてお皿に白い脂身だけが山になって残ってるから不思議。

ネズミとは親戚でも仲間でもない

よく、タヌキとハクビシンって禁煙もとい、近縁の種って勘違いされがち(くわえたばこで原稿書くな)だけど、タヌキはイヌ科でハクビシンはジャコウネコ科で科からして違う。そういう言い方すれば科どころかその上の目からしてちがうから、モグラとネズミって人とネズミくらい分類学的には別の動物ってことになる。

モグラのことがわかればそれだけでなんか親しみわいてくるでしょ。野菜やイモを齧^かじられたっていうのはモグラのトンネルを利用してるネズミとかココロギの仕業。だから濡れ衣着せた上に悪いヤツなんて偏見もたないでね。



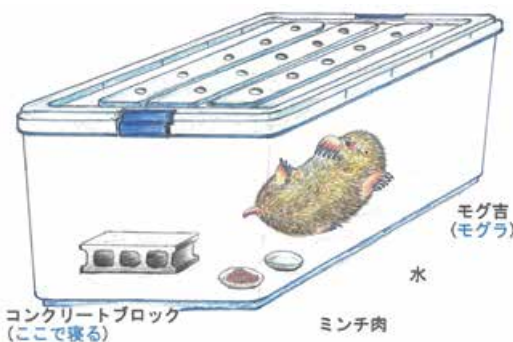
■スズメガ



■ドウガネブイブイ



■ナガチャコガネ



コンクリートブロック (ここで寝る)

ミンチ肉

水

モグ吉 (モグラ)